

## 選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立病院 機構	理事 (雇用管理担 当)	佐藤 美幸	60	H31.1.1	厚生労働省医政局医 療経営支援課長 [OB]	樋口 浩久	59	厚生労働省医政局医 療経営支援課長 [OB]	応募総数 5名 ↓ 書類選考結果 ↓(5名) 面接選考結果 ↓(4名) 優先順位を付した情報 を踏まえ、任命権者(理 事長)が選任 ↓(1名) 厚生労働大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人国立病院機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	楠岡 英雄	70	H28.4.1 (H19.4.1)	5 ※1	R6.3.31	(独)国立病院機構大阪医療センター院長 (独)国立病院機構理事(非常勤)				厚生労働大臣	
副理事長	古川 夏樹	57	H31.3.31	4	R6.3.31	厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長 社会保険診療報酬支払基金審議役 (独)国立病院機構本部企画役 【役員出向】				理事長	
理事	得津 馨	56	R1.10.1	2	R3.9.30	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課長 【役員出向】				理事長	
理事	末廣 聡	62	H30.4.1	2	R4.3.31	損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー(株)代表取締役社長				理事長	
公募 理事	佐藤 美幸	60	H31.1.1	2	R2.12.31	厚生労働省大臣官房参事官 厚生労働省医政局医療経営支援課長 【公募OB】	樋口 浩久	59	(独)国立病院機構本部企画役(職員担当) 厚生労働省医政局医療経営支援課長	理事長	R3.1.1
理事 (非常勤)	板東 久美子	66	H30.5.1	2	R4.4.30	消費者庁長官 日本司法支援センター(法テラス)理事長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	上之原 広司	66	R2.1.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構仙台医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	新木 一弘	61	R2.4.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構東京医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	長谷川 好規	65	R1.5.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構名古屋医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	奥村 明之進	62	R2.4.1	2	R4.5.12	(独)国立病院機構大阪刀根山医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	奥谷 卓也	64	H31.4.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構広島西医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	森田 茂樹	65	H30.4.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構九州医療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	長田 恵子	61	H30.4.1	2	R4.3.31	(独)国立病院機構東京医療センター副院長(現職)				理事長	
監事	伊勢 浩祐	59	H28.4.1	5 ※2	R5年度 財務諸表 承認日	みずほ債権回収(株)専務取締役				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	石尾 肇	60	H28.4.1	5 ※2	R5年度 財務諸表 承認日	石尾公認会計士事務所所長、監査法人エムエムピージー・エー・マーク代表社員(現職)				厚生労働大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標期間最終年度(令和5年度)の財務諸表の承認日(8月末)まで。

## (独) 国立病院機構理事（雇用管理担当）選任理由

本法人の使命は、患者さんの目線に立ち、懇切丁寧な医療を提供するとともに、質の高い臨床研究、教育研修を将来にわたって継続することにより、国の医療政策として機構が担うべき医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、医師や看護師をはじめ多くの専門職が勤務しており、その雇用形態や勤務体制も多様である中で、雇用管理を適正に行い、加えて、新型コロナウイルス感染症との共存における働き方の新たなスタイルへの対応や医師をはじめとする多様な職種の仕事改革への対応などの重要な課題に積極的に取り組むことが求められる。

本件公募に対しては、5人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人となった候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である理事長に提示し、理事長が選考委員会で最も高い評価を得た樋口浩久氏を選任したところである。

同人は、当機構の使命・目的などを十分に認識するとともに、医療機関運営に必要な法令や働き方改革等の制度について豊富な知識・経験を有し、さらに、大規模医療機関における幹部職員として実務経験があり、医療機関の雇用管理・雇用環境整備はもとより運営全般に極めて精通している。

また、新型コロナウイルス感染症との共存や医師をはじめとする多職種からなる医療機関の仕事改革などの医療機関の置かれた環

境を背景とする諸課題について、同人は、職員の視点に立った勤務環境の改善等働き方改革とそれに必要な業務の効率化などの取組み、同時に、安定的な経営基盤の確立の重要性など、幅広く多様な実務経験に裏付けされた総合的な視点からの明確な目的意識と改革意欲を有していることなどが選考委員会で高く評価されたものであり、理事長もそのような強み、能力、情熱に大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【厚生労働省】

- ・ 独立行政法人国立病院機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学名誉教授 1名
- ・ 病院経営者 1名
- ・ 会社役員 1名
- ・ 公認会計士 1名
- ・ ジャーナリスト 1名

---

計 5名